# Java 12日目

**概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **日程** | 2023年5月11日 |
| **学習内容** | コレクションフレームワーク、デバッグ②、コーディング規約 |
| **学習目標** | ・ArrayListの概要を説明できる。  ・HashMapの概要を説明できる。  ・スタックトレースを読んで原因となるソースコードを特定できる。  ・コーディング規約について説明できる。 |
| **教材URL** | 【カリキュラム別資料リンク一覧】  <https://tis-3sss.backlog.jp/alias/wiki/1070511>  【練習問題進捗管理\_Java】  <https://docs.google.com/spreadsheets/d/1nugK9f4TM_BqM89GxYFL_BnBkI1PKv5b9qB5FEEHhrA/edit?usp=sharing> |

**スケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 09:00 ～ 09:15 |
| **学習内容** |  |
| **学習目標** |  |
| **教材** |  |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 【時間配分】  ・点呼：2分  ・Zoomのスクリーンショット(オンライン会場のみ)：1分  ・挨拶運動：2分  ・目標確認、1分間スピーチ：9分  ・連絡事項通達：1分  以下、参考リンクです。  <https://tis-3sss.backlog.jp/alias/wiki/1126612> |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 09:15 ～ 09:50、10:00 ～ 10:50 |
| **学習内容** | コレクションフレームワーク |
| **学習目標** | ・コレクションフレームワークについて説明できる。  ・ArrayListの概要を説明できる。  ・ArrayListクラスを利用した処理を記述できる。  ・配列とArrayListの違いを理解している。  ・HashMapの概要を説明できる。  ・HashMapクラスを利用した処理を記述できる。 |
| **教材** | Java\_講義資料(下巻).pdf  Java\_教科書\_サンプルコード\_2.8.1.zip  第26章\_コレクションフレームワーク\_1.0.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 26. コレクションフレームワーク  ・コレクションフレームワークの概要  ・ArrayList クラス  ・HashMap クラス |
| **ページ番号** | P270～288 |
| **省略** | ・表26-3「ArrayListが持つメソッド」では、add()メソッド、get()メソッド、remove()メソッドのみ説明してください。  ・Sample2603.javaは作成しません。  「HashMapの作成方法」、「要素の追加」、「要素の取得」の処理について説明してください。  ・表26-5「HashMapのもつメソッド」では、put()メソッド、get()メソッド、remoce()メソッドのみ説明してください。  ・章末の練習問題は実施しません。自学自習時に取り組むように受講生に指示してください。 |
| **講義の時間割例** | **講義時間**  P271-275 35分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル : Sample2601.java  P276-284 50分（サンプルコードについてはサンプルソース打鍵の目安と注意点を確認してください。）  ・操作対象ファイル :Sample2602.java  **確認試験　10分**  LMSより確認試験を実施してください。  ※下記に該当する確認試験を受講させてください。  ・Java\_23\_コレクション\_02  **サンプルソース打鍵の目安と注意点**  Sample2601.java : 10分（全員が記入・実装まで行ってください）  ↑50分----------------------------------  Sample2602.java : 10分（終わらなければソースコードを配布して下さい）  →時間があれば拡張for文について再度解説をしてください。  Sample2603.java : ソースコードの解説のみ行って下さい  ↑50分---------------------------------- |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 11:00 ～ 12:00 |
| **カリキュラム表記** | デバッグ② |
| **学習目標** | ・スタックトレースを読んで原因となるソースコードを特定できる。  ・eclipseのデバッグ機能とあわせて使い、ソースコードを修正できる。 |
| **教材** | Java\_講義資料(下巻).pdf  Java\_教科書\_サンプルコード\_2.8.1.zip |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 27．デバッグ②  ・スタックトレースとは |
| **ページ番号** | P290～292 |
| **省略** |  |
| **講義の時間割例** | **講義時間**  P291-292 50分 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 13:00 ～ 13:50、14:00 ～ 14:50 |
| **カリキュラム表記** | コーディング規約 |
| **学習目標** | ・コーディング規約について説明できる。  ・コーディング規約を意識してコーディングができる。 |
| **教材** | Java\_講義資料(下巻).pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 28．コーディング規約  ・方針  ・ファイル構成  ・命名規則  ・ガイドライン  ・コメント  ・パフォーマンス |
| **ページ番号** | P294～317 |
| **省略** |  |
| **講義の時間割例** | **講義時間**  P297-308 50分  P309-317 50分 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 15:00 ～ 15:50 |
| **学習内容** | 練習問題 |
| **学習目標** |  |
| **教材** | Java\_練習問題\_3.1.2.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 本日行った内容まで練習問題に解答するよう伝えてください。  場合に応じてグループワークなどを取り入れると理解度向上につながります。  16:45になったら、模範解答を受講生にslack経由で配布してください。  ※受講生の練習問題の進捗に応じて配布時間を変更してください。  ・29\_コレクションフレームワーク  ・30\_デバッグ②  ・31\_コーディング規約  【模範解答格納先】  ※各章でフォルダを分けて格納しております。  https://tis-3sss.backlog.jp/git/SCHOOL\_OPE/contents\_ope\_2023/tree/master/01\_ジャンル別教材/010\_プログラミング言語/001\_Java/004\_練習問題/002\_解答 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 16:00 ～ 17:30 |
| **学習内容** | 総合試験 |
| **学習目標** |  |
| **教材** | Java\_総合\_3.0.4 |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | ・LMSにてJava総合試験を実施してください。  ・全員が試験終了次第、10分間休憩を入れてください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 17:30 ～ 18:00 |
| **学習内容** | 業務報告書作成 |
| **学習目標** |  |
| **教材** | 学習目標シート\_Java新人研修\_Cコース(3ヶ月間コース)\_氏名 |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | 総括を実施してください。   * 個人作業：25分 * 学習理解度の自己チェック * 日報の作成&提出 * 週末アンケートの回答(毎週最終営業日のみ) * サポーターへの口頭報告 * 翌営業日の予告：3分 * Zoomのスクリーンショット(オンライン会場のみ)：2分 |